

家族の会サロン

「こんにちは」を横須賀の地で毎月楽しく読まさせていただきます。まず毎月しっかりとした内容を、忙しい中でまとめている編集担当の働きに敬意いたします。

「こんにちは」を見ていると、福祉はその地域ごとに必要や働きが異なることが良くわかりますね。そして地域との安心懸け橋としてシャローム若葉が活躍されている様子が伝わってきます。

これからも、それぞれの場所で利用者に向き合い、笑顔を少しでもお届けできるように働いていきたいですね。

特別養護老人ホーム シャローム 副施設長 安河内アキラ

～地域交流委員会よりお知らせ～

今年もシャローム若葉では、**5月15日(日)**にふれあいバザーを開催致します！

掘り出し物はもちろん、焼きそばやカレー等の模擬店から喫茶店等々、美味しい物も沢山用意して、皆様のご来場を心よりお待ちしております。



当日は福祉用具なども

※詳しくは次号掲載予定ですので楽しみに！

～家族の会サロンより～

家族の会サロンは**毎月第3木曜日に若松事業所ふれあいサロンにて13:30～15:00まで開催中**です！

介護保険の事から日頃の介護に関する相談まで何でも受け付けております。美味しいお飲み物をご用意してお待ちしておりますので、お気軽にお立ち寄り下さい！

今後の予定(4月21日はお休みです)

3月17日 5月19日



こんにちは 2016年 3月号

いのちを敬い いのちを愛し いのちに仕えることによって 神の愛の実現に奉仕する

HP / <http://www.shalomwakaba.com>

平成28年3月15日発行



虹の家の皆様が若松事業所の雛人形を飾って下さいました！！ご協力ありがとうございました！

GALLERY

ふれあいサロン美助人展示



展示作品募集中！

ふれあいサロンに作品を展示してみませんか？
詳しくはこちらまでお問い合わせ下さい。
電話番号 043-235-4866

【編集後記】最近、2本杖を購入し、腰痛予防の為にポールウォーキングというものを始めました。背筋を伸ばし、2本の杖で体を左右均等に動かすので、普段歩くよりも体力を使います。いつかは杖がなくても姿勢良く歩けるようになります。(U)

地域と福祉のあんしん懸け橋

朝夕は、まだ冷え込みますが、日ごと春めいてまいりました。

三月は弥生、「やよい」と読みますが、本来は「いやおい」と読むそうです。「弥(いや)」いよいよ「生(おい)」生い茂る草木が芽吹くことを意味すること。寒い冬を越えて草木が芽吹き、生命の尊さ、力強さを感じ、景色に色がつきだす頃であり、生活の節目の月でもあります。

よくご利用者から「大変ねえ」「何でこの仕事をしているの？」と、聞かれることが度々あります。実は、このとき、介護を業とする者として、少しだけ残念な気持ちになります。きっと『介護の仕事は大変！』と、思われているのでしょう。

この問いに対して私の答えはいつも「この仕事は楽しいですよ」ご利用者と関わることで、教えて頂き学ぶことが多く、いつも新鮮な気持ちでいることが出来ます。幼少の頃や、青春時代、故郷のお話を聴く事があります。

あるご利用者との関わりの中で、沢山の学びと笑顔頂きました。被爆体験をされた当時のお話を聴くこともありました。

年中行事をととても大切にされ、何気なく過ごしてきた日本の行事を改めて知りました。

三月は五節句のひとつ上巳の節句(桃の節句)雛祭り無病息災を願う厄払い行事がのちに女の子の健やかな成長を願う形となり、行事食や雛飾り

についても意味があること。

知らないことが多いことにこの歳になり気づき、恥ずかしい限りです。

「長崎は桃カスでお祝いするの」桃のカス？桃の形をしたカステラとのことでした。

今年はそれを思い出し、「桃カステラ」を取り寄せ、菱餅、ひなあられと共に「桃カステラ」を並べて三月三日桃の節句を過ごしました。

訪問介護事業所のスタッフ、ヘルパーは、皆、仕事を楽しんで、やりがいを持ち、いきいきと働いています。

その元気の源は、きっと、ご利用者との関わりが一番なのかもしれません。

これからも皆さんと共に歩む事業所でありたいと思います。



シャローム若葉
訪問介護事業所
主任 貴島 美里



ひなまつり

若松デイ



虹の家



3月3日は桃の節句（または上巳の節句）。ひな祭りのお祝いがデイサービス、虹の家共に行われました。雛人形を飾り、お琴や大正琴の優雅な演奏が流れる中、ゆったりとした時間を皆様過ごされておられました。

桜木デイ



感動エピソード

2011年（平成23年）3月11日午後2時46分、想像を絶する東日本大震災が発生し、多くの人命が失われました。仙台の親戚の消息は通信や交通手段が途絶し、当初全く分かりませんでした。やがて悲報が・・・。

仙台湾傍らの荒浜で養鯉場を経営する従兄の自宅、事務所、作業場は津波で流失。養魚池は瓦礫と海水に埋まり鯉は全滅。また一人住まいの叔母（当時84歳）はアパートが流され、行方不明とのこと。千葉に居る身では只々無事を祈る日々でした。

その後、叔母の生存が判明し親戚に欠けた者はないとの不幸中の幸いの報に安堵しました。お見舞いできたのは11ヶ月後でした。「来てけらっしやい」と言われてやっと会いに行きました。居場所を失い疲弊した身体と心が立ち直るまで待機していました。

叔母曰く「みんな流さったのよ。着物、食べ物、日用品、茶菓子、みんな貰いモン。有難いねえ。あの日はデイサービスさ行って、アパートさ居なかったのハ。エが（良か）った〜！」と。津波の恐怖や大混乱の中での避難所の寒く不自由で辛かった日々は語らず「今もデイの皆さんに良くしてもらってるのっさー。生きててエがったー！」と笑い飛ばし感謝する叔母の気遣いに気持ちが和みました。

トモダチ作戦、台湾の方々、全国各地のそして近隣の皆さん、施設の方々、ボランティアの皆さん、自らの危険を顧みず救助活動を続けた自衛隊員、警察官、行政の方々等、多くの方々のご支援に感謝あるのみです。国破在山河。されど温かい助け合う姿がありました。3月11日は祈りの日です。（完）



介護予防デイサービス 佐藤隆一



（荒浜に建つ慰霊塔・筆者撮影）

大震災から5年経ちましたが、当時インターネットで話題となったある話をご紹介します。それは東日本大震災後、台湾にあるパソコンの部品メーカーがとった「ある行動」の話です。

震災後、その台湾のパソコン部品メーカー「ASUS」が作っている基盤に「GOD BLESS JAPAN（日本に神のご加護を）」と刻まれていたと言うのです。その事実が発覚した当初ASUS自体、この事実を知らなかったと言います。しかし、ASUSはその追及をする様な無粋な事はせず、個人で行ったことなのかグループで行ったことなのかは分からないままでした。

パソコンの目立つところではなく、中に隠れてしまう部品である基盤に刻印されていたその言葉。台湾の方々の温かい気持ちに触れた気がします。



台湾の部品メーカー「ASUS」の基盤（マザーボード）には「GOD BLESS JAPAN」の文字が

法人監査

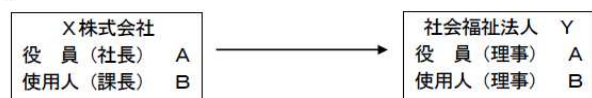


2/16～17日にかけて、関東信越厚生局による監査が法人本部にて行われました。コンプライアンスの問題など、概ね適正に運営されているとの評価でした。

しかしながら今回新たに改善点も指摘されました。現在、社会福祉法人制度改革について色々と検討されているところですが、ガバナンスの観点から、理事会構成メンバーの内、特殊関係人と呼ばれる同族親族や、図のような関係にある人については理事になれる人数が厳しく制限されることになり、当法人も見直しが求められました。

又、苦情などについても内外部に向けて公表することを求められました。

【その他特殊関係の例】
（例1）



A Bは株式会社において雇用関係にあり、その者が社会福祉法人Yの役員に就任する場合、特殊関係になる。

（例2）



雇用関係にあたらない役員同士又は役員と使用人の関係についても、それぞれ特殊関係になり、株式会社に限らず、公益法人、医療法人、宗教法人等の役員や使用人についても特殊関係になる。



中央が清水事務長、左上が我謝施設長、その下が小職（高幣施設長）
右側の2人が関東信越厚生局の監査官。

シャローム反省会

2ページの法人監査にも紹介していますが、内外部に向けて苦情等も公表することを求められています。苦情ではないですが、今回は「ヒヤリハット」として広報委員で起きた失敗談です（涙）



「こんにちは」編集委員の反省

福祉用具の研修案内を入れたつもりが、うっかり日程を間違えてしまいました。主任がゲラを見て気がついた時には、時既に遅し。

「こんにちは」900部の冊子は全部印刷し終えた後でした。ご利用者に郵送する前に発見されたのは不幸中の幸いでしたが、再印刷のため、紙の無駄遣いをしてしまいました。反省しきりです。

福祉用具 芳賀卓